

たんばビジョン通信

第28号
平成28年10月発行

発行：丹波地域ビジョン委員会 〒669-3309 丹波市柏原町柏原 688 TEL(0795)72-0500(内217) FAX(0795)72-3077

第8期丹波地域ビジョン委員会総会

第8期

丹波地域ビジョン委員会 スタート!



丹波県民局長よりあいさつ

4月23日、篠山市民センターで第8期丹波地域ビジョン委員会総会を開催し、77名のビジョン委員に柳瀬丹波県民局長から委嘱状が交付されました。

「自立」「交流」「元気」「絆」「安全安心」の5つの将来像を実現するため、8つのグループに分かれ、様々な実践活動に取り組んでいます。

丹波地域ビジョン委員会の2年間の活動への皆さまのご支援、ご協力をよろしく願います。



テーマに分かれて意見交換

夢ジョッキー

～明日の地域を担うリーダーは地域が育てる～

今年度、2期目を迎えた夢ジョッキー。コンセプトは、「自分の人生は自分の選択によって進んでいる」「自分の意志で選んで未来は作っていける」です。

1期目は丹波市内で夢授業（高校生と大人の座談会形式の授業）を行いました。そこでは、20-30代の大人が自分たちの10代の頃の体験や、社会人になってからの体験をお話しました。

2期目は、前期から続く夢授業を丹波市内にとどまらず、篠山市内でも展開します。

また、「はじまりライブラリー」という高校生へ社会人の体験談や経験を発信するWEBマガジンを公開してきます。



講義風景



笑顔の細見リーダー

さるが出た!!!

～当事者意識を持つきっかけ作りをお手伝いします～

自治会の防災・防犯学習に呼ばれ、啓発活動を行っています。

その主な内容は、「トラッキング現象」による火災発生のメカニズムの実演、高齢者を狙った「ほめほめ詐欺」への注意喚起の紙芝居です。

活動メニューを増やそうと、この夏は熱中症防止を呼びかけ、手作り経口保水液の紹介と試飲を行い、他には男女共同参画社会を目指したユニークな紙芝居上演も予定しています。

災害やトラブルを他人事と思わず、自らのこととして考えようという趣旨の啓発グループです。安全・安心の丹波地域づくりを楽しく進めましょう。皆様のお集まりにぜひお呼びください。



トラッキング現象の実演



経口保水液

自治会での活動の様子

編集後記

朝晩の冷え込みが日ごとに厳しくなってきました。今回、広報担当者のメンバーをはじめ、たくさんの方々のご協力のもと、無事に今年度最初のビジョン通信を発行することができました。本当にありがとうございました。

第8期ビジョン委員会がスタートして早や半年、各グループごとに何度も議論を重ね、活発な実践活動が始まっています。

地域の皆様もぜひ一度、ビジョン委員会主催のイベント活動に参加してみたいかがでしょうか。ご興味ある方はぜひ、事務局までお問い合わせください。

(事務局)

丹波地域ビジョンについては、
丹波県民局ホームページをご覧ください。

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/area/tanba/vision.html>
丹波地域ビジョン委員会事務局
兵庫県丹波県民局県民交流室総務防災課
〒669-3309 丹波市柏原町柏原 688
TEL 0795-72-0500 (内線 217)
FAX 0795-72-3077



Facebook ページを開設しています!

<https://www.facebook.com/tanbavision>

各グループの多彩な取り組みや情報を発信しています。
たくさんの いいね! をお願いします。



各実践活動グループの **活動** を紹介します

発見「食」丹波

～鹿肉とお茶と地域のレシピ～

- ① 地域資源（食につながるもの）を通じて、地域の魅力を再発見すること。
 - ② 地域資源を継続して活用できるような仕組みを作ること。
- 現在このような2つの目的のもと、大きく3つの活動を行っています。
- A 鹿肉または、鹿にかかわること ⇒鹿肉加工、鹿革製品等
 - B 丹波茶、お茶にかかわること ⇒お茶の製造方法、ブレンド、丹波茶の特徴等
 - C 地域の伝統料理、郷土料理の編集 ⇒現在あるレシピの活用と新たに発掘できるもの等
- まだまだスタートしたばかりですので、これから情報収集と計画作成を並行して進めていきます。



鹿について勉強中

丹波Job

～平成の丁稚奉公 職業体験人材を募集します～

“丁稚奉公”という言葉知らない人はほとんどいないでしょう。しかし、“丁稚奉公”をしている知り合いがいる人もほとんどいないでしょう。時代錯誤な制度かもしれませんが、田舎での生活や仕事は、都市住民からは時に時代錯誤と感ずることもあります。

田舎社会だけでは解決できない課題が深刻化し、田舎へ憧れを抱く都市住民も増えている昨今。

丹波JOBでは、田舎社会と都市住民のバランスを考え、“丁稚奉公”という新たな企画から、これからの田舎社会において重要な気づきを提供できるようチャレンジしていきます。



グループのロゴ

里山 de ふれあい

～ママの一声から始まった新しい里山保全のモデル～

「近所の裏山に子どもの遊び場を」といったメンバーの想いを実現すべく、坂尻地区をフィールドとして、「ママでも参加できる地域主体の里山整備」に取り組んでいます。平松地区を先行事例とし、連携を図りつつ、ママ世代の柔軟な発想と、経験者の専門知識を組み合わせることで、担い手が不足し荒れている里山に活路を見出していきます。

間伐材を使った木工のワークショップなども今後開催予定ですので、ご興味のある方は下記までご連絡ください！

連絡先：komaki328@gmail.com 小牧満也



子ども達が描いた里山



里山視察の様子

高齢者の生きがいづくりグループ

～世代を超え思いやる心をつなげよう～

モットーは“絆、思いやりの心をつなげていこう”

誰もがいつまでも、いきいきと暮らせる地域づくりに貢献したいと考えています。今年度は、太極拳教室や、小中学生と高齢者との交流会を開催します。一緒に楽しい時間を過ごしませんか。ご興味のある方は下記までご連絡ください。

連絡先：TEL090-8127-8453 田邊由記子



ぜひご参加ください

丹波の里塾

～有機野菜へのこだわり～

都会の生活からちょっと離れ、のんびり農業体験がしてみたい人、土に触れたことのない人、有機野菜や食の安心安全を何よりも考える人、小さな種から野菜が育つことを子ども達と一緒に感動したい人達の集まりです。農業や化学肥料を使わず、植物性の肥料を使った畑作りをし、たくさんの野菜の栽培を始めました。

作業と一緒に座学による知識も得ながら進めています。

11月には、自分たちが育てた野菜で楽しい収穫祭も予定しています。

この様な活動を通して、丹波地域の良さを多くの方に知って頂けるようアピールしていきたいと考えています。



座学の様子



里山参加の皆さんと

きずな

～不登校や引きこもりの居場所づくり～

「きずな」グループでは、不登校、ひきこもりの当事者や家族を地域で支えるネットワークづくりを進めています。

- ・春日町棚原の「居場所 TAMARIBA」に協力
- ・篠山市東吹にある、ひきこもり支援のNPOが運営する遊び村冒険広場の活動や、イベントへの参画
- ・春日町ハートフル春日にて無量塾を開設

そのほか、不登校ひきこもり講演会、学習会、交流会の実施など、地域の支援者と連携し、活動の和（輪）を広げていきます。



夏休みパソコン教室



流しそうめん大会